

平成25年6月教育委員会会議の要旨

- 1 日 時
平成25年6月6日（木）
開会 14時 閉会 15時28分
- 2 場 所
教育庁教育委員会室
- 3 出席委員
委員長 村上 智真
委員長職務代理者 山縣 俊郎
委員 岡野 芳子
委員 中田 範夫
委員（教育長） 田邊 恒美
- 4 欠席委員
委員長職務代理者 稲野 靖枝
- 5 出席者
教育次長 上野 清
教育次長 竹本 芳朗
審議監 小西 哲也
審議監 河村 行則
教育政策課長 河村 邦彦
教職員課長 廣川 晋
義務教育課長 清時 崇文
高校教育課長 岩本 龍治
特別支援教育推進室次長 石本 正之
社会教育・文化財課長 藤村 恭久
世界スカウトジャンボリー開催支援室次長 河村 祐一
人権教育課長 尾崎 敬子
学校安全・体育課長 栗林 正和
教育政策課企画監 濱井 昭巳
やまぐち総合教育支援センター次長 十河 悟

議案

議案第1号『平成25年度山口県一般会計補正予算（第1号）についての意見の申出について（報告承認）』

【概要】

平成25年度6月補正予算(案)の概要

教職員給与費について、国からの要請を受け、国家公務員に準じて本県教職員(本務者)の給与削減を平成25年7月から平成26年3月までの9月間行うため、所要の補正を行うもの。

【減額の概要】

(単位：千円)

区分	カット率	補正額
給与		△2,190,551
給料月額	3.77%~9.77%	△2,069,370
管理職手当	20%	△115,920
地域手当 へき地手当	4.77%~9.77%	△5,261
共済費		△425,482
合計		△2,616,033

※給料月額、地域手当及びへき地手当の補正額には、規則制定に基づいてカットされる現業職分を含む。

議案第2号『一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定についての意見の申出について（報告承認）』

【概要】

1 制定の趣旨

国からの要請を踏まえ、一般職については給料月額及び管理職手当等の一部を、特別職等については給料月額の一部を減額するものである。

2 条例の内容

(1) 一般職

ア 給料月額

給料表	職務の級	減額の割合
行政職給料表	2級以下	4.77%
	3級から6級まで	7.77%
	7级以上	9.77%

※ その他の給料表適用職員については、行政職給料表に準じた減額の割合

イ 手当

手当の種類	減額の割合
管理職手当	20%
地域手当 特勤手当（準ずる手当を含む） へき地手当（準ずる手当を含む）	給料月額等と同率

※ 地方公務員法第52条第3項に規定する管理職員等以外の職員の管理職手当の減額の割合は10%

(2) 特別職等

対象職員	減額の割合
知事	25%
副知事、公営企業管理者、教育長、常勤監査委員等	15%

(3) 実施期間

平成25年7月1日から平成26年3月31日まで

3 施行期日

平成25年7月1日

議案第3号『山口県教育委員会の権限に属する事務の点検・評価について』

【概要】

1 点検・評価の概要

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第27条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用しながら点検・評価を行い、その報告書を議会に提出して、公表することが義務づけられており、法の規定に基づき実施するもの。
- 教育委員会の活動状況と「山口県教育ビジョン 第3期重点プロジェクト推進計画」の施策体系に基づいた事務事業の実施状況の2点を対象に、教育委員会独自に実施。

2 教育委員会の活動状況

- 平成24年度は計21回の教育委員会会議等を開催し、議案、報告、協議、合計123の案件を扱った。
- 平成24年7月には、移動教育委員会を下松市で開催し、多くの県民の方が傍聴されるとともに、地域の教育関係者との意見交換を行った。
- 会議では、議案の審議とは別に、様々な教育課題について8回の意見交換を行った。
- 県内唯一の中高一貫教育高である下関中等教育学校をはじめ、28校を訪問し、教育現場が抱えている課題への対応等を視察した。
- 総括としては以下のとおり。
 - ・ 本年度は、『山口県教育ビジョン』の最終年度であったため、その第3期重点プロジェクト推進計画である「夢の実現チャレンジプラン」を着実に推進し、「一人ひとりの夢の実現」を目指した山口県教育の実現に努めた。
 - ・ 教育委員会会議においては、今後5年間の山口県教育の基本計画となる「山口県教育振興基本計画（仮称）」の計画概要（案）、ICT活用をはじめとした教育の情報化についての方向性を示す「山口県教育の情報化推進指針」、山口県スポーツ推進条例の理念・山口県スポーツ戦略プランの方向性を施策として総合的
 - ・ 計画的に推進するための「山口県スポーツ推進計画」など、教育行政に係る重要な方針決定を行った。
 - ・ 学校の運営体制の充実に向けた副校長の設置・県立高校の再編整備・平成25年度に開催される日本ジャンボリー及び平成27年度に開催される世界スカウトジャンボリーの開催支援のための部署の設置など教育組織体制の整備を進めた。
 - ・ 学校現場の実情を把握し、認識を深めるため、特定の教育課題に関しては教育委員全員が積極的に視察を行うとともに、学校長・教員との座談会を行った。
 - ・ 教育委員会活動に当たっては、協議会の運営、議事録への発言委員名の掲載など、常に改善の視点をもち、教育委員会活動の活性化に取り組んだ。

3 教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価

- 第3期重点プロジェクト推進計画に掲げた10の重点プロジェクトごとに、各重点プロジェクトの重点取組事項の進捗状況と夢チャレンジ指標の達成状況の一つずつ点検し、それらを総合して評価を行った。
- 重点取組事項の進捗状況は、『取組は順調』＝『a』、『取組の一部に課題はあるが、概ね順調』＝『b』、『取組に課題あり』＝『c』の3段階で表し、夢チャレンジ指標の達成状況は、『目標値に達成済』＝『a』、『目標値に向け、概ね順調』＝『b』、『目標達成に向け、加速化が必要』＝『c』の3段階で表した。
- 各重点プロジェクトの総合評価については、重点取組事項の進捗状況と夢チャレンジ指標の達成状況の点検結果を評価表に当てはめ、『順調』、『一部に課題はあるが概ね順調』、『取組の改善・強化が必要』の3段階で表した。

		重点取組事項の進捗状況		
		a	b	c
夢チャレンジ指標 達成状況	a	A	B	
	b			C
	c			C

A＝順調
B＝一部に課題はあるが概ね順調
C＝取組の改善・強化が必要

- 総合評価は、定量的な点検である夢チャレンジ指標の達成状況に重きを置いた。
- また、山口県教育振興推進会議において、学識経験者の知見を活用し、意見や提言もいただいた。

<各重点プロジェクトの評価>

1 自立する力育成プロジェクト 【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 新しい学習指導要領を踏まえた教育内容の充実を図り、子どもたち一人ひとりが自己にふさわしい在り方や生き方を実現しようとする意欲や態度、主体的に進路を選択できる能力等を身に付け、将来、社会の一員として、自立してたくましく生きていく力を育てる。

《点検・評価結果》

重点取組事項の進捗状況はaであるが、夢チャレンジ指標の状況は高校の体験入学に等に参加した中学生の人数やインターンシップを行った高校生の割合が目標値に比べて伸びていないことからbであるため、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。

- ・ キャリア教育の推進については、インターンシップを行った高校生や専門的資格を取得した生徒の割合を増加させるなど、進路実現に向けた取組を充実させていく必要がある。

- ・ 今後も、理数教育や外国語教育など時代の進展に対応する教育や、発達段階に応じた系統的・計画的な取組によるキャリア教育の推進に取り組む。

2 確かな学力育成プロジェクト 【評価】：順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 児童生徒が社会の中で自立して生きていけるよう、基礎的・基本的な知識・技能の習得や知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、さらには、学習意欲等の育成を図る。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の状況ともに a であるため、重点プロジェクトの評価結果は、順調とした。

- ・ 全国学力・学習状況調査ややまぐち学習支援プログラムで提供した学力定着状況確認問題等を活用した授業改善や校内研修、児童生徒による授業評価などの取組が定着している。
- ・ 家庭や地域と一体となった学力向上に向け、学力等の状況等についての情報提供や博物館と学校・地域の連携による学習支援なども積極的に進め、全ての児童生徒が自己実現を図れるよう取組を進める。

3 思いやりのある豊かな心育成プロジェクト 【評価】：順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 子どもたち一人ひとりに、お互いを尊重し合う心や思いやりの心、善悪を判断する力や社会のルールを身につけるなど、豊かな人間関係を築くことができる力を育む。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の状況ともに a であるため、重点プロジェクトの評価結果は、順調とした。

- ・ 道徳教育や人権教育に関しては、実施手法の工夫による授業や研修内容の充実、学習プログラムや視聴覚資料等の活用が図られており、目標も概ね達成された。
- ・ 体験活動の充実についても、AFPYをはじめとした様々なプログラムの活用が図られるとともに、学校におけるボランティア活動の実施も目標が達成された。
- ・ 今後も子どもたちの規範意識の向上に取り組むとともに、潜在化・複雑化するいじめ問題や不登校等に対応するため、「心の教育」や相談体制の充実を図る。

4 子ども元気創造推進プロジェクト 【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

《プロジェクトの概要》

- ・ 「遊び、スポーツ」「食育」「読書」を一体的に取り組むなど、子どもたちの心と体の「元気」を創造し、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育てる。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況は a であるが、夢チャレンジ指標の状況は、毎日朝食を摂っている児童生徒の割合及び学校以外で月に 1 冊以上読書をしている児童生徒の割合が目標に比べ伸びていないことから b であるため、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題があるが概ね順調とした。

- ・ 体力向上に関しては、「チャレンジやまぐち」のウェブページでの公開や授業以外での体力向上に向けた 1 校 1 取組、学校体育での地域のスポーツ人材の活用などの取り組みを進め、指標の目標値を達成した。
- ・ 一方、読書活動に関しては、学校での読書活動の充実を、食育に関しては、栄養教諭等の資質能力の向上や家庭・地域との連携などの取組を推進しているものの、指標は依然低い状況にある。
- ・ 今後も、子どもの生活習慣の形成・定着に向け家庭や地域との連携を一層図りながら、食育・体力向上・読書の取組を一体的に推進する。

5 きめ細かな指導体制づくり推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 子どもたちの発達段階に応じ、一人ひとりが抱える様々な教育課題に適切に対応できるよう、きめ細やかな指導体制づくりを推進する。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況は a であるが、夢チャレンジ指標の状況は、高校生の就職決定率や総合支援学校における産業科の就職率などが目標に比べ伸びていないことから b であるため、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。

- ・ 一人ひとりに対応したきめ細かな指導体制づくりに向け、少人数教育の推進、不登校や問題行動等に対応した生徒指導・相談体制の充実を着実に進めている。
- ・ 就職対策の取組については、引き続き、就職指導専門員や緊急求人開拓員等による求人開拓の強化や関係機関との連携の強化、総合支援学校における職業教育の充実などに取り組んでいるが、厳しい経済情勢の中、一層の取組強化が必要である。

6 学校の安心・安全と活力推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

《プロジェクトの推進方向》

- 子どもたちが安心して教育を受けることができるよう、学校施設の耐震化など、安心・安全な教育環境づくりに取り組むとともに、複雑・多様化する教育課題に的確に対応できるよう、学校の運営体制や指導体制等の充実を図り、活力ある学校づくりを進める。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況はaであるが、夢チャレンジ指標の状況は、私立学校の耐震化率や特色ある学科及び指導方法を取り入れた私立学校の割合が目標に比べ伸びていないことからbであるため、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。

- 市町の実情に応じたきめ細かな指導・助言を行うなど取組を進め、市町立小中学校の耐震化について目標を達成し、通学路の安全点検や防災アドバイザーによる各学校の巡回指導など学校安全3領域の取組を充実させた。
- 今後も非構造部材の耐震化や衛星携帯電話等の防災備品の整備、体験活動を通じた児童生徒の防災対応能力の向上等に努める。
- また、学校運営体制の改善や各学校の魅力発信など特色づくりに向けた取組の推進に努める。

7 県民総参加による教育推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

《プロジェクトの推進方向》

- 子どもたちが、様々な社会体験活動等を通して健やかに成長することができるよう、地域社会が教育活動に積極的に参画できる体制を構築し、社会全体で教育の向上に取り組む。また、県民が社会の中で充実した生活を送ることができるよう、生涯学び続けることができる環境づくりを進める。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況はaであるが、夢チャレンジ指標の状況は、生涯学習情報システム閲覧件数が目標に比べて伸びていないことからbであるため、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。

- 地域と学校が一体となった教育の取組を進めるため、コミュニティ・スクールの活用をはじめ、地域の人材による組織的な学校支援活動の充実に取り組み、目標値を達成した。
- 世界スカウトジャンボリー開催に向けては、山口県支援委員会による大会PRなど機運の醸成が図られている。

- ・ 今後も、地域協育ネットの構築による学校・家庭・地域が一体となった教育支援の取組を全県的に推進する。
- ・ 生涯学習の推進に関しては、引き続き、生涯学習情報提供システムの活用に向け、周知啓発に取り組む必要がある。

8 家庭教育応援プロジェクト 【評価】：順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 家庭生活を通して、子どもたちの基本的な生活習慣や倫理観、社会性等が身につくよう、家庭の教育力の向上を図る。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の状況ともに、aであるため、重点プロジェクトの評価結果は、順調とした。

- ・ 家庭教育の充実に向け、保護者向けリーフレットの配布や「わが家のやくそく大募集」などのキャンペーン等の意識啓発・情報提供に努めた。
- ・ また、身近な地域での相談支援体制の充実に向けた家庭教育アドバイザーの養成や地域における取組の実践事例の周知なども積極的に行っている。
- ・ 今後も、地域協育ネットの一層の活用推進などにより、家庭の教育力の向上を図る。

9 文化にふれあい文化に親しむ環境づくり推進プロジェクト 【評価】：順調

《プロジェクトの推進方向》

- ・ 子どもたちの豊かな感性を育み、文化への理解や文化活動への参加を促進するため、優れた文化にふれあう機会の充実を図るとともに、本県の多彩な文化財や伝統文化の保存・継承と活用の促進を図る。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の状況ともに、aであるため、重点プロジェクトの評価結果は、順調とした。

- ・ 学校での芸術鑑賞の機会の一層の増加や地域人材を活用した伝統文化講演の充実を図るとともに、博物館・図書館・美術館での各種企画展や学習講座の開催など、文化にふれあう機会の充実にも取り組んだ。
- ・ 文化財の保護・活用に向けた取組に関しては、文化財を活用した学習機会の提供にも積極的に取り組むとともに、文化財ウェブページの一層の充実を図った。

10 『おいでませ！山口国体』等を契機とした県民スポーツ振興プロジェクト

【評価】：順調

《プロジェクトの概要》

- ・平成23年に開催された「おいでませ！山口国体」等を契機とした競技力の向上や学校体育・スポーツの充実、豊かなスポーツライフの推進など、県民スポーツの総合的な振興を図る。

《点検評価結果》

重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の状況ともに、aであるため、重点プロジェクトの評価結果は、順調とした。

- ・山口国体・山口大会の開催を契機に高まった競技力や、スポーツに対する関心の高まりなどを、本県の貴重な財産として時代に継承し、発展させるため制定した「山口県スポーツ推進条例」の理念を基礎として、「山口県スポーツ推進計画」を策定した。
- ・今後は「山口県スポーツ推進計画」に基づき、生涯スポーツの推進、競技水準の向上、「人財」の育成、地域の活性化を基本方針として、スポーツの推進に関する施策の計画的な推進を図ることとしている。

◆ 点検・評価にあたっての外部有識者の知見の活用

5月28日に教育、医療、経済界、PTAなど各分野で教育に携わられている専門家で構成する山口県教育振興推進会議を開催した。

《主な意見》

- 指標に関しては、明確な目標（数値）を示すことで職員の意識付けを図るという意味もある。目標値が「増加させる」「減少させる」という曖昧な表現にとどまっているものは明確な数値にした方が良いのではないか。
- 報告書はよくまとめられているが、今後、これらの評価を現場の活動等につなげていくことが重要である。

評価結果一覧

基本的方向	重点プロジェクト	重点取組事項				夢や感動指標				総合評価			
		H21	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24
Ⅰ 一人ひとりの学ぶ力を育み、自分らしさを生かして未来に羽ばたく力を育てます	1 自立する力育成プロジェクト	b	b	b	<u>a</u>	b	b	b	b	B	B	B	B
	2 確かな学力育成プロジェクト	b	b	a	a	b	b	b	<u>a</u>	B	B	B	<u>A</u>
Ⅱ 豊かな心や健康やかな体づくりを進め、子どもたちの元気を創造します	3 思いやりのある豊かな心育成プロジェクト	b	b	a	a	b	b	b	a	B	B	B	A
	4 子ども元気創造推進プロジェクト	b	b	b	a	c	c	c	b	C	C	C	B
Ⅲ 子どもたちの豊かな学びを支えるため、質の高い教育環境づくりを進めます	5 きめ細かな指導体制づくり推進プロジェクト	b	b	a	a	b	b	b	b	B	B	B	B
	6 学校の安心・安全と活力推進プロジェクト	b	b	b	<u>a</u>	c	b	b	b	C	B	B	B
Ⅳ 家庭や地域の教育力を高め、連携・協力を強化し、県民総参加の教育の実現に向けて取り組みます	7 県民総参加による教育推進プロジェクト	b	b	a	a	b	b	b	b	B	B	B	B
	8 家庭教育応援プロジェクト	b	b	a	a	b	b	a	a	B	B	A	A
Ⅴ 夢や感動があふれ、人と地域が輝く、豊かな文化と活力あるスポーツの振興を図ります	9 文化にふれあい文化に親しむ環境づくり推進プロジェクト	b	b	a	a	b	b	a	a	B	B	A	A
	10「おいでませ！山口国体」等を契機とした県民スポーツ振興プロジェクト	b	a	a	a	c	b	a	a	C	B	A	A

協議事項

- ◆『山口県教育振興基本計画（仮称）の素案』について、協議した。

【概要】

協議事項1 参考資料

山口県教育振興基本計画（仮称）の素案について

1 策定の趣旨（序章）

新しい時代に向けた本県教育がめざす基本的な方向を明らかにし、総合的かつ計画的に取り組むべき施策をまとめた教育振興基本計画を策定

■計画の位置付け

- 「輝く、夢あふれる山口県」の実現に向け、県政の推進方向である「5つの全力」を具現化するための教育分野の計画
- 教育基本法第17条第2項に基づく本県教育の振興基本計画（教育基本法の理念を踏まえ教育再生を実現するため現在策定中の国の第2期教育振興基本計画を参酌）

■計画期間：平成25年度～平成29年度（5年間）

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29					
山口県	山口県教育ビジョン(H10.3策定) H10～24(15年間)															山口県教育振興基本計画 H25～29(5年間)									
国																反映									
																教育振興基本計画					第2期教育振興基本計画				

2 本県教育をめぐる状況（第1章）

【教育を取り巻く環境】

- (1) 少子高齢化の進行と家庭・地域社会の変容
- (2) グローバル化・高度情報化の進展と知識基盤社会化
- (3) 雇用環境の変化
- (4) 東日本大震災の教訓

【子どもの状況】

- (1) 子どもの学力・学習状況
- (2) 子どもの意識
- (3) 子どもの体格・体力
- (4) 児童生徒の問題行動

3 教育目標、目標達成に向けて（第2章）

- 本県教育の特色は、豊かな先見性、進取の気質、質実剛健の気風、郷土を愛し郷土に奉仕する精神とともに、「若さに期待し、若さに託してきた」優れた教育風土にあるといわれており、このような伝統を継承
- グローバル化や高度情報化、知識基盤社会化など、今後とも大きな変化が予想されるこれからの社会において、夢や目標を志に高め、他者とのつながりを大切にするとともに、希望をもって自らの将来や社会を力強く切り拓いていく子どもたちを育成

教育目標 未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

やまぐちっ子のすがた

- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人
- 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

目標達成に向けて育む「3つの力」「3つの心」

3つの力（学ぶ力、創る力、生き抜く力） 3つの心（広い心、温かい心、燃える心）

4 施策の展開 (第3章)

(1) 総合的・計画的な施策の推進

施策の柱	30の施策のもと、50の主な推進指標を設定
①知・徳・体の調和のとれた教育の推進	「キャリア教育の推進」など 15施策 主な推進指標 28指標
②質の高い教育環境づくりの推進	「教育施設・設備の整備・教育環境の向上」など 8施策 主な推進指標 12指標
③生涯にわたる県民総参加の教育の推進	「家庭教育支援の充実」など 7施策 主な推進指標 10指標

(2) 重点的な施策の推進 (10の緊急・重点プロジェクト)

プロジェクト名	主な取組内容
①グローバル人材育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○他国や自国・郷土の文化や伝統を理解し、尊重する態度を育成する教育の推進 ・教材の作成・活用等、授業等における伝統や文化を学ぶ機会の充実、グローバルセミナーの開催 ○実践的な語学力・コミュニケーション能力の育成 ・児童生徒の英語の使用機会の拡充、教員の英語力の向上 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 英検 2 級・準 2 級を受験した高校生の数(2,555 人→3,000 人以上) 英検 2 級・準 2 級に合格した高校生の数(905 人→1,000 人以上) </div>
②ものづくり人材育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○発達段階に応じたものづくり等への興味関心の喚起 ・職場見学・職場体験の充実、多様な実施形態によるインターンシップの推進 ○企業等と連携したカリキュラムの充実、職業資格取得の促進 ・地域産業と連携した課題解決学習、技術研修の実施 ・資格取得講習、高度な資格取得に向けた合同講習会の開催 ○高校生の就職支援の充実 ・「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」の3つの柱のもと就職支援を充実 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 専門的資格を取得した生徒の割合(19.6%→25%) 高校生の就職決定率(97.7%→向上させる) </div>
③確かな学力育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数教育の推進 ・35人学級に加え、小1プロブレムの解消等に向けた30人学級化に関する実践研究、少人数指導の充実 ○PDCA サイクルによる授業改善の推進 ・学力定着状況確認問題、やまぐち学習支援プログラム等を活用した検証改善サイクルの確立 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 全国学力・学習状況調査平均正答率(→全区分で全国平均を上回る) </div>

<p>④豊かな心育成プロジェクト</p>	<p>○道徳教育、体験活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県独自の教材集の活用などによる道徳教育の充実 ・「心の冒険・サマースクール」の開催、「AFPYの手引き」の充実と活用促進 <p>○いじめ・不登校対策等のための相談体制の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充等による支援体制の充実 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>1,000人当たり不登校児童生徒数(小中:9.7人、高:5.1人→減少させる) 1,000人当たりの暴力行為発生件数(小中高:42件→減少させる) いじめの解消率(88.4%→向上させる)</p> </div>
<p>⑤子ども元気創造プロジェクト</p>	<p>○「食育」「遊び・スポーツ」「読書」に一体的に取り組む、全県的な「子ども元気創造」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全小学校を対象とした「90日元気手帳」の活用による望ましい生活習慣の形成・定着 <p>○運動機会の確保による運動習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合スポーツクラブ」(仮称)の活動などによる運動部に所属していない生徒への運動機会の確保 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計得点の県平均(小5男:53.6点、小5女:54.4点、中2男:41.5点、中2女:48.5点→向上)</p> </div>
<p>⑥魅力ある学校づくりプロジェクト</p>	<p>○県立学校再編整備計画の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編整備の推進(下関地域の工業高校:H28年度開校) ・定時制・通信制の再編、多部制の定時制高校の設置 ・全日制普通科の通学区域全県一区化(H27年度以降の早期) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>公立高校の体験入学等に参加した中学生の人数(17,645人→20,000人)</p> </div> <p>○特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部・中部・西部3エリアでの指導・支援体制の整備、生徒の増加に対応した施設整備
<p>⑦安心・安全な学校づくりプロジェクト</p>	<p>○学校の安心・安全の基盤となる公立学校施設の耐震化と学校や通学路における安全確保対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立学校の耐震化の推進(非構造部材の耐震対策を含む) ・防犯を含む生活安全、交通安全及び災害安全の取組の推進 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>県立学校の耐震化率(91.5%→完了:平成27年度末まで)</p> </div>
<p>⑧教職員人材育成プロジェクト</p>	<p>○「教職員人材育成基本方針」に基づき、複雑化・多様化する教育課題に的確に対応できる教職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携による優秀な教職員の確保 ・研修の充実や教職大学院の活用による「学び続ける教職員」の養成 ・学校運営・校内指導体制の充実 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>やまぐち総合教育支援センター研修の受講者数(12,701人→15,000人)</p> </div>

<p>⑨地域ぐるみの教育 推進プロジェクト</p>	<p>○学校・家庭・地域が連携・協働して、地域ぐるみで子どもの育ちを支える「地域協育ネット」を全県で推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協育ネットの全県普及（全中学校区へ協議会設置） ・コミュニティ・スクールの設置促進、実践事例の普及 <p>コミュニティ・スクール導入校の割合(27.7%→80%)</p>
<p>⑩世界スカウトジャンボリー 開催プロジェクト</p>	<p>○大会を契機とした国際理解教育、青少年の健全育成に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場や地域プログラムでの児童生徒の積極的な交流、参加国についての事前事後学習の実施など ・ポストジャンボリーの開催などの検討・実施 <p>ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した公立学校割合(→100%)</p>

5 計画の着実な推進（第4章）

- 市町教委、関係機関・関係団体等との連携
- 教育委員会の事務の点検・評価
- 外部意見の反映

【参考】今後のスケジュール

年 月	内 容
25年 6月下旬	県議会文教警察委員会 【素案】報告
7月	パブリック・コメント（7/1～7/31（1月間））
9月	県議会文教警察委員会 【最終案】審議
10月	策定・公表

【 主な意見 】

- 山 縣 委 員：長期的な計画を立てるときには、何を常に守って、何を変えていくかという識別が大切。この計画は評価できる。
海外に出張するようになって強く感じるのは、日本の若い人は、何か一旗揚げてやろうという志を持つ人が少ない。
本計画を基に本当にたくましい人財を育てて欲しい。
- 岡 野 委 員：計画は良く出来ていると思う。
ただ、計画の実行に当たっては、地域性を重視し、地域との連携を大切にしながら取組を進めていただきたい。そうすれば、それぞれの地域に根ざした活動が生まれてくるのではないかと思う。
- 中 田 委 員：計画の中にある人財育成の取組では大学との連携も視野に入れておいて欲しい。
小・中学生、高校生から見て魅力的な研究をしている先生もおられるので、相互交流の取組は地域にも大学にも役に立つと思う。
- 田 邊 教 育 長：今後は、パブリック・コメント等のご意見を踏まえながら、成案を作成していきたい。
本計画は教育行政だけで実現できるものではないので、幼保、小・中学校、高校、大学それぞれのつながりを押さえながら、企業、学校、家庭、地域社会等を含めた社会総がかりでの教育の取組となるよう、策定を進めていきたい。